

2014年5月17日（土）

浅間嶺（903m：奥多摩）

写真 by 熊本、能勢、根岸

九州ミヤマキリシマ・ツアーフの足慣らしとして奥多摩の浅間嶺（903m）に岡部さん、根岸さん、能勢さん、熊本の4名で行つきました。



青梅線 武藏五日市駅に8時に集合。

根岸さん、熊本は一本早めの電車で到着し  
バス停に並ぶ。



数馬・都民の森行のバス（8:22発）は長蛇  
の列。根岸さん、熊本は前から2番目に並  
び、能勢さん、岡部さんは20番目位だ。



増発3便がでて同時発車。

第一便に根岸・熊本組、2便に能勢・岡部  
組で優先的に座席を確保してくれた。しか  
し出発時には各バスは超満員の状況。この  
まま約一時間乗車する。



我々は浅間尾根登山口で下車。3台のバスから降りたのは我々4人の他、たった5名のみ。

他の皆は「三頭山」に登るため都民の森終点まで行くのだろう。

先ずバス停前で、ストレッチ体操で体の筋肉を解す。



予定通り 9:20 に出発。

バス停から檜原街道を少し戻る。



3分程で、「浅間坂」への標識が出ていた。前回の破風山では登山口を間違えて、えらい苦労しており、今日は二度と繰り返さないよう地図で確認し、OKで左折する。



最初の集合写真を、浅間坂入口で撮る。  
本日のメンバー4人。



舗装された林道を少々登ると、浅間尾根への狭い山道となった。  
次々と春の高山植物が現れる。  
ツツジ、シャクナゲ、ヤマブキ、アヤメ等  
多彩である。





檜林の登山道は枯草が堆積したフカフカで柔らかく、膝にやさしく歩きやすい。



道案内の標識は頻繁にあり迷うことはない。





檜林の登山道が続く。  
新緑の若葉を吹き抜けてくる風は爽やか  
で気持ちが良い。



登り始めて 45 分、標識が出てきた(10:05)。  
藤原峠・風張峠の分岐点だ。



傍に馬頭観音が祭られていた。  
この登山道は昔の檜原街道で、馬で物資を  
運んだのだそうで、行く先々に馬頭観音が  
現れた。



最初の休憩、岡部さんからケーキを頂く。  
ここは既に標高 900m を超えており  
尾根筋は近そうだ。



暫く進むと大きな岩があり、「サル石」とあった。猿の手形が見えるらしいが、よくわからない。  
前回の破風山ではサル岩があった。



更にアップダウンの少ない道を進むと「一本杉（一本松）」の標識があり、檜林の中に大きな1本の杉古木だった。  
その近くにも「馬頭観音」があった。  
(10:35)



高低差の少ない緩やかな尾根道は快適だ。  
新緑の若葉がまぶしい。



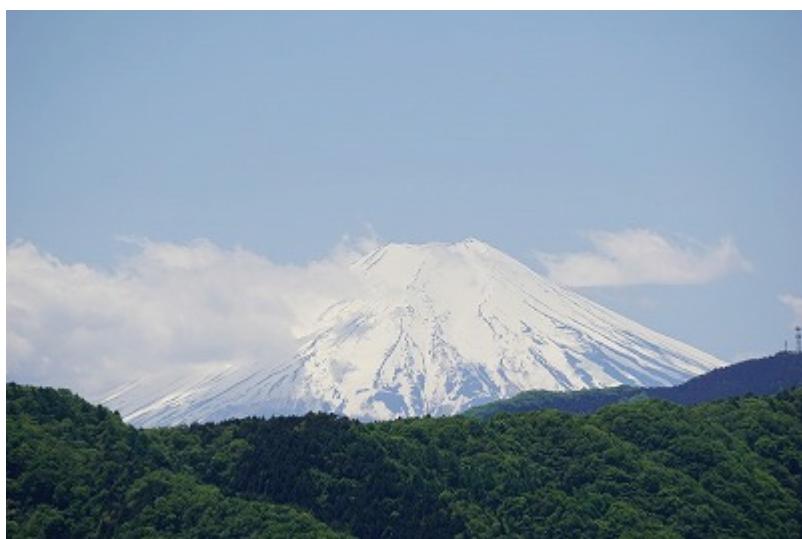
「人里（へんぽり）」へ下る分岐に小さな祠があった（11:00）。



地図で確認し、山頂が近いことを確認する。



11:25 浅間嶺山頂（903m）に到着。  
山頂の標識の向こうに富士山が見える。



根岸さんが買ったばかりのカメラで撮った富士山。  
実に綺麗に撮れた。



山頂で昼食。



記念の集合写真を撮って下りに入る。

11:55 で予定より 35 分早いペース。



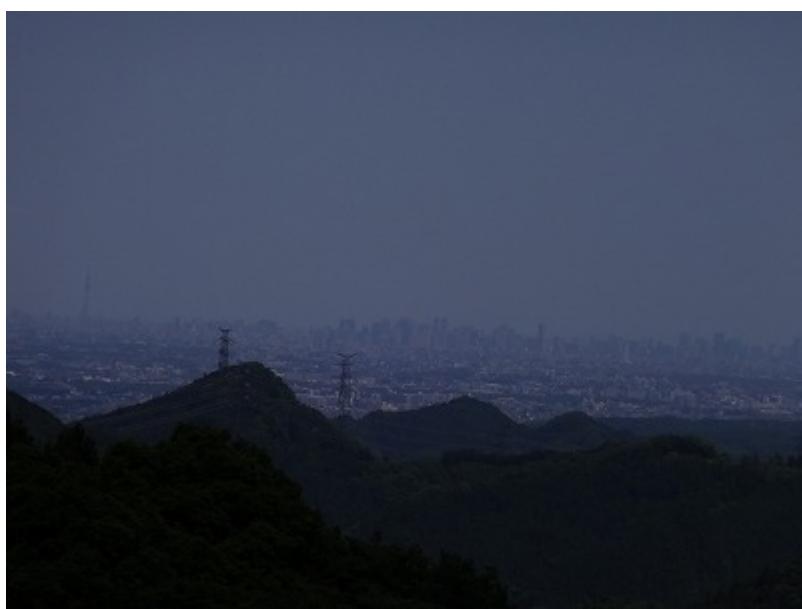
40分程下ったところに古民家風の店があり「お代官休息所跡」とあった。物資の人馬による輸送だけでなく、参勤交代の街道でもあったのか？ 水車で水を引いた池には「クリンソウ」が多数咲いていた。





標高差約 400m 下ると「時坂峠」についた。

(13:00)



開けたところから都心のビル街と左の方にスカイツリーが見える。

ここから「払沢の滝」バス停はもうすぐだ。



バス停から歩いて 10 分、13:40 払沢の滝に到着。

武藏五日市駅へのバスまで 40 分近くあったが、バス停に着いた時、丁度、増発の臨時便がきて飛び乗った。

岡部さんは用事があるとのことで、このまま武藏五日市駅へ、他男性 3 名は温泉のため十里木で下車



十里木で下車し秋川渓谷の上流を渡り「瀬音の湯」へ向かう徒步 10 分（14:20）。



秋川渓谷の上流。

「瀬音の湯」でユックリ入浴・休憩し、  
16:00 に迎えのタクシーを頼み、武藏五日  
市駅へ。



16:10に駅に到着し、当初の予定より1時間位早く、ホームベンチでツマミを広げて宴会。

根岸さん、能勢さんは拝島で乗換とのことで、16:27の拝島行で、熊本はその後の東京行のホリデー快速で帰路に着く。



能勢さん、根岸さんお疲れ様でした。

40分の登りで900mの尾根道にてて、後は急なアップダウンのない尾根歩きで、新緑の森林浴ができました。

山道を約13kmと距離を稼ぎ、4人とも一週間後に参加する九州ツアーへの足慣らしが出来ました。